

新宮山彦ぐるーぷ第2236回

行仙宿 熊野修験サポート後の後片付け

◇実施日 5月17日(水) 晴

◇参加者 生熊敏男、畑林秀味、松本吉殖、梶野照雄 4名

13、14日の熊野修験サポートが終わり、当日使用し雨で濡れた幟やブルーシートを乾燥させるために行仙宿に向かった。



ホースの穴を塞ぐ

傾きを修整

登山口の水場から林道まで伸びているホースに穴が開いていることを坂田さんが見つけたので、自己融着テープなどを持ってホース沿いに水場に向かう。水場から10mほど下で水漏れ箇所を発見。3ヶ所にテープを巻いて簡単な処置をした。水漏れはほぼ止まると思うが、再び漏れ出すようならこの部分のホース交換が必要になる。

第2ベンチの傾きを調整したが、山側に木の根があり深くは掘れなかった。設置位置を変更しなければならない。



行仙宿に到着



昼食



マキ造り

午前11時40分、行仙宿に着く。濡れた幟やブルーシートは屋外に干されていた。小屋内では福岡の女性登山者と生熊さん等が昼食を摂っていた。管理棟から缶パンを2個持ってきて昼食にする。少しでも減らさないと、賞味期限切れになってしまう。

食後、幟などが十分に乾燥する間薪造りを始める。

小屋南に積んである丸太は外側が腐り始めている物が多く、殆どをマキにしなければならぬ。5本ほどを30cmに切って割っていった。

午後2時過ぎまで作業を続け、残った木は丸太の上に片付けた。小屋に戻って干していた物を収納する。福岡の女性が手拭に興味を示したので、管理棟からとってくと白、紺の2枚を買ってくださった。

管理棟、倉庫の戸締りを確かめ、お堂前で写真を撮って下山した。



本日の参加者

下山中

下山、解散

モノレールのエンジンは始動したが、また途中で止まると降ろすのに苦労すると思いモノレールは使わなかった。
(記：梶野)

行動タイム

10:30 補給路登山口→11:40 行仙宿 15:03→15:35 補給路登山口